

夜間看護助手業務人材派遣 仕様書

1. 業務名称

令和7年度から令和8年度までにおける大阪国際がんセンターの夜間帯における看護補助者業務及びその他付随する業務の労働者派遣業務（単価契約）

2. 目的

- ・看護師の夜間における業務負担軽減のため
- ・夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算取得のため

3. 履行場所

大阪国際がんセンター 看護部（病棟）

4. 履行期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

当院は令和8年2月1日に夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算の届出をするため令和8年1月1日までに仕様人数を満たすこと。

5. 派遣人員

①準夜勤 8 名

勤務時間 16：45～22：45（実働 5 時間 15 分）休憩 45 分

勤務日 月曜日～金曜日の 1 人あたり週 5 日

休日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始の休日（12 月 29 日～1 月 3 日）

②夜勤 1 日 4 名（月曜日～日曜日の 1 人あたり週 2 回）

勤務時間 16：45～翌 8：45（実働 14 時間 00 分）休憩 2 時間 00 分

（食事休憩 30 分、夜間休憩 90 分）

勤務日 月曜日～日曜日の 1 人あたり週 4 日（週 2 回）

休日：シフト制

※①②も勤務日数の少ない人員を組み合わせる派遣は行わないこと。

6. 派遣時間

上記「5 派遣人員」による月単位にて派遣しなければならない延べ時間数の目安は月平均 2,904 時間（休憩時間月平均 364 時間含む）である。（ただし予定時間数であり発注量を約束するものでない。）

※派遣労働者の退職または欠勤の状況が続いた場合でも、大阪国際がんセンターが夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算及び夜間看護体制加算を算定するために必要な人数を配置すること。

7. 業務内容

主な業務は、別紙の看護補助業務のとおり。（派遣先指揮命令者の指示に基づき実施すること。）院内規則及び勤務場所の運用方法に則り、遂行すること。また配置病棟以外の病棟への応援を行うことがある。

8. 業務従事者の注意事項

本業務に従事する者は、病院の特殊性を考慮し、患者及び来院者に対する言動や行動等に注意し、常に節度ある態度で業務を遂行すること。

9. 派遣元の要件

（１）業務従事者に、次に掲げる行為があったときは、当院は業務従事者の変更を要求するものとする。その場合、後任の派遣者を速やかに派遣できること。

ア 業務従事者の勤務状況が適正と認められないとき。

イ 業務従事者の業務実績が契約条件に適合しないとき。

ウ 業務従事者に不品行があったとき。

エ 当院が、業務従事者の業務遂行が十分でないと判断したとき。

（２）すべての契約手続き、請求手続きに不備のないこと。

10. その他特記事項

（１）派遣事業者は、滞りなく円滑に業務継続されるよう、派遣開始前までに現行の運用を十分に把握（現況調査）し、効率的な移行及び業務開始ができるようにする。

（２）派遣事業者は、契約の解除又は契約期間満了後に、当院が他の業者と契約を締結することとなった場合、業務を支障なく本仕様書のとおり遂行するために、他の業者と十分な引継期間を設け、業務の引き継ぎを行うものとする。なお、派遣開始前の現況調査に伴う費用については、本契約受託者が負担することとする。

（３）派遣事業者は、事前に当院にて作成する勤務表に従って勤務すること。ただし、業務従事者が休暇等の理由により、勤務しない日が判明したときは、事前に当院に通知すること。また、相当期間勤務しない日がある場合については、当院と協議のうえ、当該業務従事者に替わる別の従事者を派遣すること。

（４）上記「５ 派遣人員」及び「６ 派遣時間」に記載する必要な人員及び派遣延べ時間数を満たすことができず、これにより発注者である大阪国際がんセンターが夜間100対1急性期看護補助体制加算又は夜間看護体制加算を算定することができなくなった場合は、当該加算を算定できるようになるまでの間の当該加算による収入見込金額を本契約受託者は大阪国際がんセンターに対して補償すること。

（５）この仕様書に定めない事項については、必要に応じて、委託者及び受託者が協議して定める。